

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
音楽業界研究 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	加茂・館			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
ミュージシャンの収入の得る方法の一つではないこと、JASRACからの印税、印税を得るために不可欠な契約書の重要性を教える。近年のネットビジネスの基礎知識（音楽の情報発信）。年度末に行われる確定申告もミュージシャンとして生活していく為には、重要であることを理解させる授業にしていく。											
到達目標											
コンサートビジネス、ネットで話題になっている新技術や世の中の動き、Webサイト構築やSNS活用、契約書の基礎などの音楽ビジネスにおいて必要な知識を得て、これからの音楽生活に著作権がいかに関わっていて、自分の身を守ってくれるものであることを理解することを目標としている。											
授業方法											
著作権の知識を中心としながら、法律・判例のわかりやすい解説、実例の紹介、ワークシートによる理解度の確認を反復していく。映像を使用したり、グループワークなどを展開し、授業を進行していく。学生自身を成功している音楽家役としてロールプレイング授業も展開していく。											
成績評価方法											
試験60%、小テスト20%、平常点20%											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション、授業の目的、音楽ビジネスに必要な著作権概要・導入										
第2回	概要、種類、発生と登録手続き、有効期限、時事問題										
第3回	本番を支える主な4つのポジション										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科

音楽業界研究1

第4回	舞台を支えるスタッフについて
第5回	著作物として認められる事例
第6回	共同著作、法人著作、著作人格権
第7回	外国人の著作物、著作権侵害への対抗措置
第8回	アレンジやカバー曲の話、パブリックドメイン
第9回	プレイヤーサイドの話、著作隣接権
第10回	概要、業務内容、信託、包括契約等
第11回	信託契約、新規著作権管理団体
第12回	様々な立場から考えるJASRAC
第13回	アーティストとメーカー、プロダクション、その歴史と変化
第14回	収益の計算方法
第15回	前期試験対策